

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 日本語科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>出題する問題は、2種類に大別される。1つめは、大学院で日本語とその関連領域を科学的に研究する際に必要な基本的知識を習得済みかどうかを確認するための設問である。2つめは、具体的事例の分析を想定した設問であり、研究を十分に遂行する能力の有無を見定め、論理的表現力や応用的な説明能力の高さを測るためのものである。いずれも、日本語を主たる対象に科学的な言語研究を行う上で必須となる知識と資質について受験者の準備状況を確認することを主たる出題の意図とする。</p>

平成30年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 日本語科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚，解答用紙 3枚を配付する。

問1から問3まで全問に日本語で解答しなさい。設問はそれぞれ別々の解答用紙に記入すること。

問1 以下の用語のうち4つを選んで、日本語の例を挙げるなどして具体的に説明しなさい。なお、選択した用語の記号を最初に付すこと。解答の順序は問わない。

- a. 垂井式アクセント
- b. モダリティ階層
- c. 口蓋化
- d. ラポールトーク
- e. 逆使役
- f. 共感覚メタファー
- g. かきまぜ現象
- h. 子音語幹動詞
- i. 統語的尊敬語
- j. 分裂文

問2 同一の言語であっても、使用者の属性や使用環境などによって使用されることばには違いが現れる。その中でもっとも顕著な違いは使用者の成育地の空間的差異による「地域方言」であることが多いが、地域方言以外にもこの種の「位相差」は現れる。現代日本語には、どのような位相差が考えられるだろうか。具体例を挙げながら論じなさい。

問3 日本語において文法化(grammaticalization)が生じるとき、どのような特徴や傾向がみられるだろうか。具体例を挙げながら論じなさい。

以上